

ヒナラン ラン科

Amistostigma gracile (Blume) Schltr.

鳥取県：絶滅危惧 類 (CR+EN)

環境省：絶滅危惧 B類 (EN)

選定理由 減少顕著，採取圧，局限・孤立，希少性。

生態・形態 樹林下のやや乾いた崖壁の岩棚などに生育する小形のラン科草本。斜傾する茎は細く，高さ約10cm。葉は茎の基部に1個，狭長楕円形，長さ約5cm，幅1～2cm，ときに中部に小形葉がつく。花は7月ごろ，淡紅紫色，総状に数個，小形，長さ約1cm。

分布 本州関東以西，四国，九州。

(県内) 佐治村。

保護上の留意点 嚴重な採取防止。山地の岩場およびその周辺一帯の自然植生の維持。

